多彩な恵方巻の予約受付中

割烹料亭「正月荘」数量限定の二重巻き、七福巻など

江戸末期創業の割烹（かっぽう）料亭「正月荘」（平字大町）は2月1日まで、節分に向けた5種の「正月荘の恵方巻」の予約を受け付けている。先着50人に正月荘オリジナルタオルをプレゼントする。

「二重巻きロール」は玉子、マグロ、サーモン、エビ、キュウリ、カニかま、数の子、しめ鯖、イクラ、白身魚、とびっこなど、選りすぐりの具材をぜい沢に巻き込んだ、食べやすいハーフサイズの特製恵方巻＝直径約8チセン、長さ約10チセン＝で、1本1500円（税込み）。一番人気の「七福巻」は、エビ、玉子、キュウリ、かんぴょう、シイタケなどが入って1本1200円（同）。

また新作メニューとなる「茶そばのうな巻」（限定30本）と同じく新作のサンドウィッチの具材をパンで巻いた感じの「わくわくロールサンド」（限定30本）はそれぞれ1本1500円（税込み）。同店の若手料理人が考案した新作「照り焼きキムチ巻」（限定30本）は1本800円（同）。

二重巻きロールと七福巻も数量限定となり、引き渡しは2月2、3の両日午後4時から同6時。予約、問い合わせは同店＝電話（23）3104＝まで。

「正月荘の恵方巻」のＰＲチラシ

「赤絵細描」米久さん（石川出身）陶展

27日まで　小野美術で新春特別企画

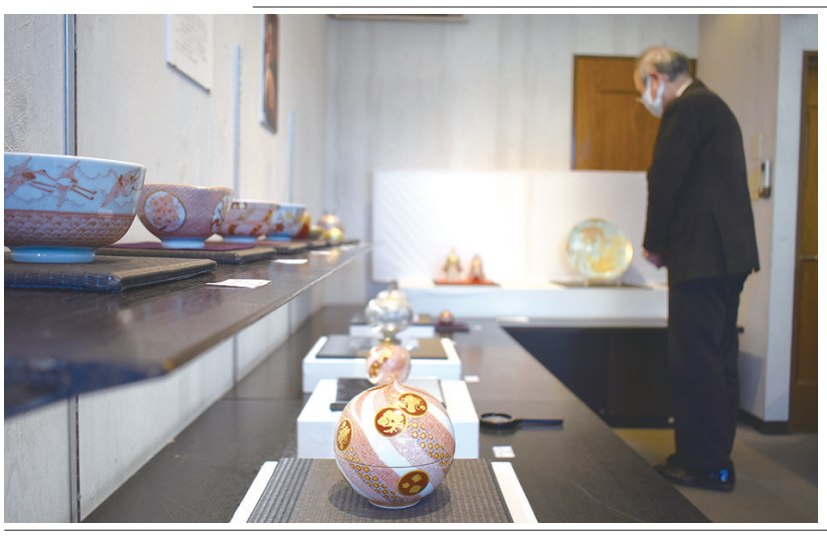
小野美術の創立25周年を記念した新春特別企画「赤絵細描　米久和彦展」が27日まで、同ギャラリーで開かれている。23日から25日までは、石川県能美市（旧根上町）出身の九谷焼作家・米久さん＝1968（昭和43）年生まれ＝が絵付けの実演を行うほか、お茶席が設けられる。

米久さんは金沢美術工芸大美術学科（油絵）、県立九谷焼技術研修所専門コースを卒業後、96（平成8）年に米久窯を構えて作家活動を本格化。全国で個展を開くなど高い評価を得ている。

米久さんが同ギャラリーで展示するのは11年ぶりとなり、今回は作陶35周年記念と併せた展示会となる。今展では九谷焼の技法のひとつで、江戸時代の後期から明治初期に栄えた「赤絵細描」を伝承し、長年取り組んできた米久さんならではの技が光る花瓶や香炉、茶わんなどの逸品約80点が並ぶ。近年、力を入れている「青彩」や「黒彩」の作品もあり、繊細で優美な筆遣いを間近に堪能できる。

「独自の扇風車紋の作品などバラエティーに富んだ手書きの繊細さを楽しんでほしい」と同店。開催時間は午前10時～午後6時（最終日は午後4時まで）。23日から25日の絵付けの実演は午前10時～午後5時、お茶席は午前10時半～午後4時半。問い合わせは同ギャラリー＝電話（35）0383＝へ。

「赤絵細描」を中心とした繊細な手書きの作品が並ぶ米久和彦展の会場



若松光一郎氏の詩などずらり

エリコーナ　来月1日まで「福アート展」

平字大町の「ART SPACE ELICONA（アートスペースエリコーナ）」が所蔵する絵画や彫刻、版画、陶器、工芸作品などを特別価格で販売する「新春　福アート展」が17日、同ギャラリーで始まった。2月1日まで。

石城郡湯本町三函（現常磐湯本町）出身の洋画家で、本市の画壇に大きな影響を与えた若松光一郎氏＝1914～95年＝の遊び心あふれる詩「とおみんからさめたかえる……」をはじめ、皿絵、そして生前に買い求めた美術品など約100点を並べた。交流の深かった岩手県出身の画家松田松雄氏＝1937～2001年＝の初期の油彩のほか、宮城県黒川郡落合村舞野（現・大和町）生まれの彫刻家佐藤忠良氏＝1912～2011年＝、画家・舞台美術家として活躍した朝倉摂氏＝1922～2014年＝らが常磐炭鉱をスケッチした際に描いたと〝みられる〟貴重な色紙寄せ書き、いわきにゆかりある陶芸家緑川宏樹氏＝1938～2010年＝の一輪挿しなども。

このほか、全国区で活躍する作家たちの芸術品や日常遣いのスカーフ、布ポーチ、帆布トート、古伊万里なども並び、来廊者たちの目を楽しませている。

開廊時間は午前10時半～午後5時。休廊日は月曜。問い合わせは同ギャラリー＝電話（24）0004＝まで。

若松光一郎氏のユニークな詩（手前）をはじめ、約100点が並ぶエリコーナの「新春福アート展」

若松、鎌田正蔵両氏特別展開催

県立美術館

若松光一郎氏と郡山市を拠点に活動した洋画家の鎌田正蔵氏＝1913～99年＝の特集展示「絵画の臨界点　若松光一郎、鎌田正蔵のフォルム」が2月1日まで、県立美術館で開かれている。

ともに東京美術学校油画科の同級生で、グループ「貌」や「同人会」などの若手芸術集団でも一緒に活動した。同館ではふたりの創作活動は具象と抽象が入り混じった〝臨界点〟として作品に結実していくと、時代的な背景や関連作家の作品も踏まえ、その画業の変遷を辿っている。

開催時間は午前9時半～午後5時（最終入館は同4時半まで）。休館日は月曜。問い合わせは同館＝電話024（531）5511＝まで。

特集展示「絵画の臨界点　若松光一郎、鎌田正蔵のフォルム」のチラシ

来月23日に税の無料相談会

東北税理士会いわき支部　確定申告へ、予約受付中

東北税理士会いわき支部（百沢重人支部長）は、2月23日の「税理士記念日」に合わせ、ＪＲいわき駅前ビル「ラトブ」6階のいわき産業創造館セミナー室で、確定申告に関する税の無料相談会を催す。同月20日まで、予約を受け付けている。

日ごろ、税理士と接する機会の少ない市民を対象に毎年開催している。相談時間は午前10時～午後3時半。所得税の確定申告に関する相談や財産の贈与、相続、市県民税そのほかの税金に関する相談に応じる。

予約は平日午前9時半～午後4時半に、予約専用電話＝050（2018）1150＝まで。

◇

来月開催する無料相談会をPRする百沢支部長㊧と涌井さん

百沢支部長（税理士法人くちき会計）と広報担当の税理士涌井智子さん（はるかぜ税理士法人）がこのほど、いわき民報社を訪れて無料相談会をPRし、広く参加を呼び掛けた。